

埼玉県議会議員

# 内沼博史

埼玉県議会 県政報告 2016年春号

発行:埼玉県議会自由民主党議員団  
内沼博史 事務所 飯能市双柳373-12 あおぞらビル202  
TEL.042-978-8518 FAX.042-978-8519

## 県本会議にて初の一般質問

多くの皆様のご支援を頂き平成27年4月の埼玉県議会議員選挙において初当選させて頂き県議会議員として活動をさせて頂いております。委員会や視察などの議会活動、お声をかけて頂いた会議やイベント、地域の行事に参加し皆様の声を少しでも反映できるよう充実した毎日を送っております。

平成27年10月2日には初めての一般質問を行うこともできました。また、常任委員会、特別委員会においても様々な質問、提案をさせて頂きました。市と県のパイプ役として市、市議会と連携し、市民の皆様の期待に応えるよう「飯能」を主張し県に発信してまいります。今後も経験や勉強を積み重ね県民、市民の皆様の代表として精進してまいります。



埼玉県議会議員 内沼博史

## PROFILE

産業労働企業委員  
地方創生・行財政改革特別委員  
決算特別委員会

昭和32年飯能市岩沢生まれ、在住  
加治小学校、飯能第一中学校  
県立飯能高校、日本大学文理学部 卒  
加治東小学校第22代PTA会長

平成17年、21年、25年飯能市議会議員選挙 当選  
飯能市議会 議長 副議長  
平成27年埼玉県議会議員選挙当選

## 一般質問ダイジェスト 地方創生総合戦略についてやアクティブシニアがいつまでも活躍できる仕組みづくりなどを発言!!!

### 1. 地方創生総合戦略について

- (1) 県と市町村の連携について
- (2) ムーミンのテーマパーク「メッツァ」の開園に合わせた県内の観光連携施策について
- (3) 「メッツァ」周辺の道路整備について
- (4) 農のある暮らしを生かした定住促進について

### 2. 消防の広域化について

### 3. 新たな国民健康保険制度に向けた県の取組について

### 4. 県の就業支援について

- (1) 女性が活躍できる社会環境の整備と就業支援について
- (2) アクティブシニアがいつまでも活躍できる仕組みづくりについて

### 5. 地域包括ケアシステムの構築について

### 6. 林業の活性化と県産木材利用の促進について

### 7. 地元問題について

- (1) 県道富岡入間線JR八高線阿須ガードの拡幅について
- (2) 県道飯能下名栗線の整備について

## 県政報告会のお知らせ

埼玉県議会議員 内沼博史

平成28年4月23日(土) 開場13時 開始13時30分

飯能市民会館 小ホール



<http://uchinuma-hiroshi.jp>

# "飯能と埼玉をつなぐ"

## 埼玉県議会一般質問 (H27年9月議会)



### (地方創生総合戦略)県と市町村の連携について

**Q 内沼博史** 地方創生総合戦略の策定は、今後の埼玉県や各市町村の生き残りの大きな柱になると思います。その中で、県独自の取り組みも重要になってきますが、各市町村との連携、いくつかの市町村にまたがった広域にわたる施策や支援、協力体制の構築が非常に重要になってくると考えます。そこで、地方創生総合戦略において県は市町村とどのように連携していくのか。

**A 企画財政部長** 現在、県内各市町村では、いわゆる地方版総合戦略の策定に鋭意取り組んでいるところ。県では、市町村の総合戦略の策定を支援するため、県内各地域振興センターを核として、地域の市町村が共通の課題を検討する「地域の未来を考える政策プロジェクト会議」を県内10地域で開催しております。会議では、若者の地域への愛着を高めることが、今後の人口流出の抑制につながるなどの議論が行われております。県としては、今後、各市町村の総合戦略が実行段階に入中、引き続き市町村との広域的な連携関係を構築するとともに、ふるさと創造資金などを活用して積極的に支援してまいります。



### ムーミンテemapark「メツァ」と県の地方創生における観光施策について。

**Q 内沼博史** 飯能市の宮沢湖に北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設「メツァ」の開設が決定し、飯能市のみならず、埼玉県の地方創生にとって大変重要な施設になると思います。メツァオープン後は、県を中心とした広域での連携協力が必要不可欠だと思います。こうした様々な観光連携は、県の広域連携機能の一つとして、メツァを含め、県がさらに取り組んでいく必要があると思います。本県の地方創生における観光施策の起爆剤として、ムーミンのメツァをしっかりと活用していくことが必要であるとおもうがいかがお考えか。

**A 産業労働部長** 議員御指摘のとおり、有名な観光地である川越、長瀨や秩父、そしてお隣の日高市の中野田、高麗神社などと連携することは極めて重要でございます。メツァとこれからの観光地を巡る周遊コースは、観光客の増加はもとより、宿泊客の増加も見込まれ、地域経済の活性化が期待できます。宮沢湖や周辺の雄大な自然を生かした「メツァ」は、アニメファンだけでなく新たな客層を魅了する貴重な観光資源となる可能性があります。県としてはこのプロジェクトの進捗状況を踏まえ、飯能市や設置事業者、西武鉄道等と連携しながら観光客誘致に積極的に取り組んでまいります。



### 「メツァ」建設予定地の周辺道路の整備について

**Q 内沼博史** メツァとあけぼの子どもの森公園を結ぶ都市計画道路阿須小久保線については、昭和41年に都市計画決定されており、飯能市においても地元要望も強く、早期開通を目指し取り組んでいますが、いまだに開通のめどが立っていません。このためメツァ開通時には、市街地を通過する車やその周辺を迂回する車が増加し、新たな交通渋滞が発生することにより、市民生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。そこで「メツァ」周辺の道路整備について伺います。

**A 県土整備部長** テemaparkでありますメツァの開園により、大勢の観光客が飯能地域を訪れ、その多くは自動車を利用することが予想されます。メツァへの具体的な輸送の手段やルートにつきましては、今後、開発事業者が手続きを進める中で示されることとなっております。飯能市の道路網整備の検討結果を踏まえ、技術的な支援や国の交付金申請に関する助言など、県で協力できる取組につきましては積極的に対応してまいります。さらに、幹線道路であります国道299号や県道飯能寄居線のバイパス整備につきましても、メツァ建設を踏まえた市の道路網整備に大きく寄与いたしますことから、引き続き早期に完成できるよう取り組んでまいります。



### 女性が活躍できる社会環境の整備と就業支援について

**Q 内沼博史** 仕事を続けたいと思っていたけれども、育児などのために辞めざるを得なかった方も多くいらっしゃいます。また、子育てが一段落して再就職したいと考えている方など、総務省の労働力調査によれば就業を希望している女性は多くみられ、意欲と能力のある女性を十分生かされていないことは社会にとっても大きな損失だと思えます。女性の活躍できる社会環境の整備と就業支援について伺います。

**A 産業労働部長** 県では「短時間勤務が定着している」「出産した女性が働き続けている」など、女性が働きやすい環境づくりに取り組んでいる企業を「多様な働き方実践企業」として認定しています。これまで1,728社を認定しており、今年度末までに2,000社を目標に認定を進めてまいります。また、建設業や運送業など女性の少ない業界団体等と連携して、先進事例の紹介やセミナーの開催などにより企業の理解を促進していきます。女性の就業支援についてです。

県では女性キャリアセンターを設置し、女性ならではの視点に立った就業支援を行っています。女性が相談しやすいように全員女性のカウンセラーの配置し、就職に向けた課題の整理や不安の解消など、利用者に納得していただくまで面談を行っています。応募書類の作成や面接試験への対応などの支援も行っています。



### アクティブシニアがいつまでも活躍できる仕組みづくりについて

**Q 内沼博史** 意欲、経験、知識があるアクティブシニアがさまざまな分野で生かすことができるような、新たな取組が必要ではないでしょうか。そこで、これら「アクティブシニア」の就業支援について、県のこれまでの取組と今後の支援策について伺います。

**A 産業労働部長** 就業支援サテライトに60歳以上の方の専用コーナーを設け、専門の相談員が高齢者のキャリアチェンジを支援することを検討しております。また、いきいきと働く高齢者の好事例を企業にPRすることにも力を入れてまいります。経済団体はもとより、企業や県民の皆様にもこうした好事例を紹介するとともに、高齢者がはたらくと働ける場を増やせるよう努めてまいります。



### 県道富岡入間線JR八高線阿須ガードの拡幅について

**Q 内沼博史** 飯能市においては沿線に阿須運動公園、市民体育館、ホッケー場などの主な体育施設や駿河台大学、「あけぼの子どもの森公園」などがあり、特に最近ではムーミンテemaparkの開設が発表されたこともあり、来訪者が多くなり、この道路の重要性も増してきました。そのような中で、八高線ガードは、両側道路に比べ道幅が狭く、歩道もなく大型車が来るとすれ違いも出来なく、少し大きめの普通車どうしのすれ違いもままなりません。富岡入間線の整備を進める会を立ち上げ、要望活動を行っていきと聞いております。この地元住民の悲願である、ガード拡幅について伺います。

**A 県土整備部長** 県道富岡入間線は飯能市内を流れる入間川の右岸地域を東西に結ぶ幹線道路で、JR八高線との立体交差が阿須ガードでございます。この阿須ガードは盛土形式の八高線の下を県道が通過する構造となっており、道路幅員が5.5メートルで大型車同士のすれ違いが困難な状況となっております。拡幅整備につきましては、メツァの開設なども踏まえて、今後の交通状況の変化などを見ながら、必要に応じて検討してまいります。さらに、現状での安全対策として、ドライバーへの注意喚起を促すような路面表示なども引き続き実施してまいります。

